

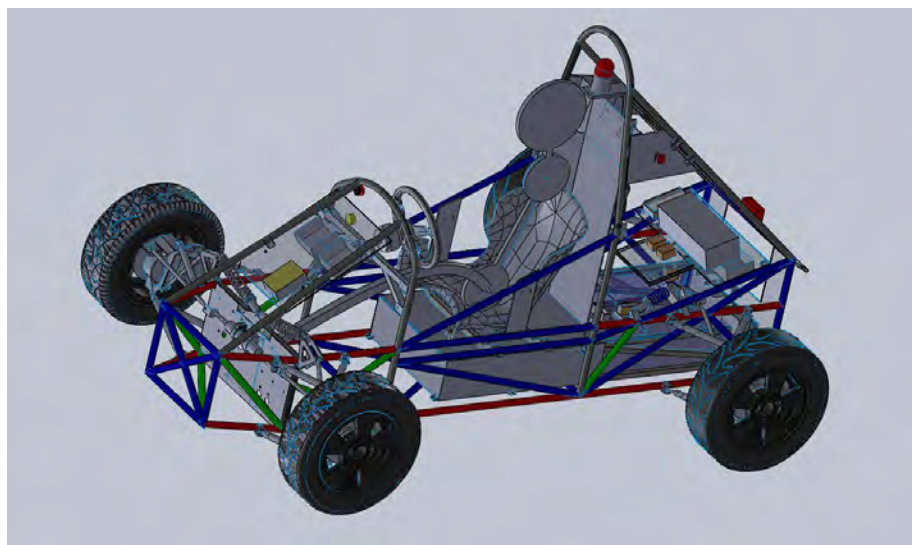
E8 新潟工科大学

Niigata Institute of Technology

新潟工科大学フォーミュラプロジェクト

Niigata Institute of Technology Formula Project

大会を振り返って



今回の総合結果・部門賞

●総合70位

Profile チーム紹介・今までの活動

新潟工科大学フォーミュラプロジェクトは、第13回大会に機械班4名・電気班2名で挑みました。人数が少なく、常に車両製作で手一杯の状態でしたが、皆で一致団結してNT15型フォーミュラカーを完成させ、エンデュランスにおいてEVクラス唯一の完走を果たすことができました。

Team-member チームメンバー

高橋 和也 (CP)

門松 晃司 (FA)、金崎 権 (FA)

阿部 諒真、浅野 桂介、吉川 友樹、行方 新、庭野 祐二

Presentation

プレゼンテーション

NT15型の設計コンセプトは「乗りやすいフォーミュラカー」としました。そのコンセプトを満足するために、「ドライバーの着座姿勢を乗用車に近づける」「ドライバーコックピットの足元の空間を広く確保する」という設計目標を基に行ないました。

アキュムレーターコンテナは、EV3.4.6のガイドラインを使用せず、EV3.4.7に記述されているルールに合わせて製作しました。軽量化を実現するために、絶縁材料には塩ビ板を用いています。その結果、Li-ionバッテリー5個や電装品を含めた重量を100kg以内に収めることに成功しました。

駆動方式には、インホイールモーターを採用。それを各車輪に取り付けることにより、4WDシステムを実現しています。この4WDシステムを採用した狙いは、基本コンセプトの「乗りやすいフォーミュラカー」を実現するため、コーナー脱出時のトラクションを確保し、アクセルワークをより簡単にするためです。

Participation report

参戦レポート

静岡入り数日前に右リヤ駆動用コントローラーが故障し、参加ができないのではないだろうかと思いましたが、しかし、以前故障してミツバ様に修理を依頼していたコントローラーが出発前に直るとの連絡があり、なんとか大会に参加することができました。

電気車検・機械車検では致命的な指摘もなく、順調に車検をクリアしていました。しかし、ブレーキテストにてなかなか右フロントタイヤがロックしませんでした。一旦修理工房にてブレーキのエア抜きを行ない、再度ブレーキの調整をした結果、大幅に時間をロスしたものの、ブレーキテストもクリアすることができました。

動的審査では、アクセラレーションを完走、スキッドパッドでは周回数ミスやトラブルでDNFとなりましたが、エンデュランスではEVクラス唯一の完走を果たすことができました。EVクラスでは4位、スキッドパッドDNFが響き他の部門の受賞を逃し、非常に悔しい第13回大会でした。

上位入賞ができなかったことや他の賞を頂けなかった原因は、人数が少なすぎて製作以外に力を割けなかった点なので、メンバー集めに力を注ぎたいです。

最後となりましたが、第13回大会にてスポンサーとしてくださった企業様に厚く御礼申し上げて、レポートの締めくくりの言葉とさせていただきます。支援していただき、誠にありがとうございました。

Sponsors スポンサーリスト

品銀鉄工所、ダイニチ工業、亀田製菓、キノコエントープライス、酒井鉄工所、新潟横浜タイヤ、近藤電気商会、ソリッドワークス・ジャパン、ダイニチ工業、ショーダクリエティブ、柏陽銅機、矢崎総業、有沢製作所、エンドレス・アドバンス、二幸産業柏崎、センサータ・テクノロジー・ジャパン、北越工業、和光ケミカル、幸和、プロラッド、コロナ、ミツバ、轟産業柏崎、リッセル

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/E8.html>